

教材名：花いっぱいプロジェクト	
主題名：学校を愛する心	内容項目：C（15）よりよい学校生活、 集団生活の充実

1 ねらい 学校に愛着や誇りを持ち、その一員として、よりよい校風をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）
<p>◇ 自分の学校の良さについて話し合い、本時のテーマを知る。</p> <p>① 自分の学校が自慢できることは何でしょう。 ・挨拶 ・仲の良さ ・校舎内外の環境 ・学校祭</p> <p>② 映像資料を視聴し、心に残ったことを話し合う。 ・一人の力ではできないスケールの大きさだ ・花で溢れている学校なんだ</p> <p>◇ 教材を読んで話し合う。</p> <p>③ 文句を言っていた男子生徒が、次の日の朝、水やりを手伝ったのは、どんな気持ちからでしょう。 ・真平さんや先輩たちが大切にしてきた花を、枯れさせるわけにはいかない ・今年も最優秀賞をとり、13年連続にしたい ・沢山の先輩たちがつないできたバトンを、自分たちも受け継ぎたい</p> <p>④ 今年も最優秀賞をとりたいと思ったのは、どんな気持ちからでしょう。 ・15年前から現在まで続けてきた努力を無駄にしたくない ・沢山の先輩たちがつないできたバトンを途切れさせたくない</p> <p>◇ 自分との関わりで考える。</p> <p>⑤ 「〇〇学校のバトン」をつなげるために、自分たちができることはどんなことでしょう。 ・一人一人が学校を築く一員であるという自覚をもつ ・先輩たちの努力に感謝する気持ちをもって取り組む ・いいところを、全校みんなで力を合わせて受け継いでいくようにする ・自分たちの学校のいいところは、さわやかなあいさつができることだから、先にあいさつができるように、クラスや生徒会や部活動で取り組む</p> <p>◇ GTの話聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。</p> <p>⑥ 「つなげ 〇〇中学校のバトン」について、GTからお話を聞きましょう。</p>

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①の前後に、バトンを渡しているイラストと本時のテーマ「つなげ 〇〇中学校のバトン」を提示することで、課題意識を高める。
- ・②で映像資料を見ることで、「花の学校」のイメージを持って教材に出会えるようにする。
- ・⑤では、グループ活動を行うことで、一人一人にとっての「できること」を考えるようにする。また、具体的な行動まで考えることで、実践意欲を高めるようにする。
- ・⑥では、先輩であるGTから〇〇中学校での思い出などを聞くことで、学校の歴史や伝統の重み、それを受け継ぐ大切さについて考えを深められるようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集2（中学校）「19 花いっぱいプロジェクト」

教材名：花いっぱいプロジェクト	
主題名：学校を愛する心	内容項目：C（15）よりよい学校生活 集団生活の充実

- 1 **ねらい** 学校に愛着や誇りを持ち、その一員として、よりよい校風をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 映像資料を見て、教材への関心を高める。

- ① 「どんな学校でしたか」「生徒たちはどのように世話をしていますか」など質問をし、内容を確認する。

- ・花で溢れている学校だ
- ・校務員さんと生徒たちでお世話をしている

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 「花の学校」の花壇をつくるために、大変だなと思ったことはどんなことでしょうか。

- ・ポット一万個にプランター千個分の土を作ること。量も大変だけど花作りの土台だから
- ・三万株の花の水やりや草むしり。時間がかかるし草むしりには終わりが無い
- ・どれも一人ではできないし、誰かやらない人が出てくる人が出てくるかもしれない みんなの心を一つにすることが大変だと思った

- ③ 生徒たちは、なぜこんなに大変な苦勞をして「花いっぱいプロジェクト」の取組を行っているのでしょうか。

- ・花いっぱいの学校を自慢に思っているから
- ・真平さんと先輩たちが、毎年続けて取り組んできたから
- ・12連覇してきた伝統を、ここで終わらせるわけにはいかないから
- ・花いっぱいの学校は、たくさんの先輩たちがつないできたバトンだから

◇ 自分を振り返って考える。

- ④ 私たちの学校は、どんな「〇〇の学校」といえるでしょうか。そのために自分たちがしていること、できることはどんなことでしょうか。

- ・「挨拶の学校」です さわやかなあいさつができることだから 気持ちの良い挨拶が広がるように、クラスや生徒会や部活動で取り組んでいます
- ・「ぴかぴかの学校」です 無言掃除の取組で、一人一人がどこをどうきれいにするかを考え、頑張っています その姿を後輩たちも見て頑張ってくれているから ぴかぴかの学校が続いているのだと思います

3 指導上の留意点及び工夫

- ・①では、「『花の学校』と地域から親しまれてきた学校があります。どんな学校なのか見てみましょう。」と投げかけ、映像資料及び教材への関心を高める。
- ・②で大変さの理由を中心に考えることができるように、教材の読み聞かせの際に主な作業を板書に位置付けていってもよい。
- ・③では、一人一人が責任を持ってやり遂げること、その個人の力が集団の大きな力になって「花の学校」のバトンをつなぎ続けていることから、集団の在り方や校風について多様に考えられるようにする。

4 参考資料 ・映像資料集2（中学校）「19 花いっぱいプロジェクト」